

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-900	16-021	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Alcohol Consumption and Cardiac Biomarkers: The Atherosclerosis Risk in Communities (ARIC) Study. アルコール摂取と心臓バイオマーカー: The Atherosclerosis Risk in Communities (ARIC) Study.		
<b>執筆者</b>		
Lazo M, Chen Y, McEvoy JW, Ndumele C, Konety S, Ballantyne CM, Sharrett AR, Selvin E.		
<b>掲載誌</b>		
Clin Chem. 2016 Sep;62(9):1202-10. doi: 10.1373/clinchem.2016.255778.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
潜在性心血管疾患、心臓バイオマーカー、飲酒量		27440513
<b>要 旨</b>		
<b>目的:</b> 潜在性心血管疾患の進展におけるアルコールの役割は明らかではない。我々は、飲酒量と潜在的な心臓障害および壁応力のマーカーとの関連を検討した。		
<b>方法:</b> Atherosclerosis Risk in Communities (ARIC) Study の対象者のうち心血管疾患既往のないものを対象 (横断解析: n=11597, 縦断解析: n=9476) とし、飲酒と高感度トロポニン T (hs-cTcT) および N 末端プロ脳性ナトリウム利尿ペプチド (NT-proBNP) の血中濃度との関連を検討した。飲酒は、非飲酒、過去飲酒、現在飲酒 ( $\leq 1$ , 2-7, 8-14, $\geq 15$ drinks/週) にカテゴリ化した。1drink はワイン 4 オンス, ビール 12 オンス, リカー 1.5 オンス相当とした。なお、hs-cTcT および NT-proBNP は 6 年の間隔で 2 回測定し、横断的および縦断的に解析した。横断的解析は hs-cTcT ( $14 \geq \text{ng/L}$ ) および NT-proBNP ( $\geq 300 \text{pg/mL}$ ) 高値のオッズ比 (OR) および 95% 信頼区間 (CI) をロジスティック回帰分析により算出し、縦断的解析は両マーカー上昇の相対リスク (RR) および 95% CI を Cox 比例ハザードモデルより算出した。		
<b>結果:</b> 非飲酒者に比し 2-7drinks/週の飲酒者では、ベースライン時の横断的解析にて hs-cTnT 高値 ( $14 \geq \text{ng/L}$ ) のものは少なく (OR 0.67, 95%CI 0.46-0.96)、フォローアップまでの縦断的解析では高 hs-cTnT ( $14 \geq \text{ng/L}$ ) となるリスクは低かった (RR 0.70, 95%CI 0.49-1.00)。一方、横断的解析にて飲酒量と NT-proBNP 濃度は正の相関関係を認めた。縦断的解析にて、15drinks/週以上の飲酒者における NT-proBNP 濃度上昇 ( $\geq 300 \text{pg/mL}$ ) リスクが有意に高かった (RR 2.38, 95%CI 1.43-3.96)。		
<b>結論:</b> 中等度の飲酒が慢性の潜在性心臓障害マーカーである hs-cTnT 低値と関連し、壁応力のバイオマーカーである NT-proBNP と正の関連を示した。これらの知見はアルコールの心臓に対する影響は複雑であることを示唆している。		